

平成17年12月15日

地域密着型金融推進計画の進捗状況について

1. お客様へ

鹿沼相互信用金庫は10月27日をもちまして「創業80周年」を迎えることができました。この間、昭和初期の金融恐慌、第二次世界大戦、オイルショック、バブル経済の崩壊等の試練がありましたが、お客様の暖かいご支援、ご指導のお陰で乗り越えることができました。今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年3月、金融庁の「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」に基づき、「地域密着型金融推進計画」の進捗状況（17年4月～9月）を下記のとおり公表いたします。

2. アクションプログラムへの取り組み状況

項目	進捗状況
事業再生・中小企業金融の円滑化	(1)政府系金融機関、官公庁、産学官等と連携し創業、新事業支援について情報交換やビジネスマッチングに取り組んでいます。 (2)平成17年度の経営改善支援先(38社)の支援に取組み、コンサルティング機能を活用し、2社をランクアップしました。 (3)業界の研修、栃木県との情報交換会、地元企業への訪問や金庫内研修 [ローンレビュー (融資後の業況把握) のポイント、第三者保証のありかた、顧客への説明態勢、売掛債権担保融資等] を通して人材育成や制度の徹底に努めています。 (4)お客様から寄せられる苦情相談に対し迅速な対応を図っています。 (5)無担保融資商品(「力」「地域支援」)を販売し、中小企業金融の円滑化に取り組んでいます。
経営力の強化	(1)新信用格付システム導入、新BIS規制に向けて準備を進め、リスク管理態勢の充実に取り組んでいます。 (2)お客様のリスクに応じたプライシング(融資金利設定)に継続して取り組んでいます。 (3)営業店の自店監査、監査部の臨店監査を実施し、法令等遵守状況の点検を実施しました。 (4)適切な顧客情報の管理・取扱の確保は、内部研修等を実施

	し徹底を図りました。
地域の利用者の 利便性向上	(1)2005 ディスクロージャー誌に、金融活動を中心とした地域 貢献について情報開示を行ないました。 (2)「利用者満足度アンケート調査」を実施し顧客の要望等の 把握に努めました。

### 3. 経営計画（計数）の状況

目標項目	19年3月末目標計数	17年9月末計数
預金残高	1,800億円	1,780億円
融資残高	900億円	871億円
不良債権比率	9%台	12.51%
自己資本比率	7%台	7.24%
繰延税金資産比率	15%以内	14.82%

以上